

●自然に囲まれたレジャー施設で宿泊施設やプラネタリウム、森林科学館などがある。

パークアルカディア

ふるさと紀行 周辺マップ

山方トンネル

山方小

山方中

湯の澤鉱泉

久慈川 カントリークラブ

やまがた宿 芋煮会会場

山方宿駅

御城展望台

●佐竹氏の重臣、山方能登守の居城跡に、昭和62年に建設された展望台。入館料は大人100円、小人50円、幼児無料となっている。

久慈川

●福島県から茨城県を流れる一級河川で、日本で有数の鮎の釣場として有名。

山方淡水魚館

●久慈川に面した水族館で、休日にはミニSLやミニ新幹線に乗車できる。入館料は大人150円・小人70円・幼児無料となっている。

舟納豆

●国道118号線沿いにある昭和26年創業の納豆専門店「舟納豆」で有名な丸真食品。

山方ふれあい農園

●常陸大宮市の農園で現在はJA常陸が管理している。収穫された果物は農園で直接販売している。

陰陽神社・陰陽山森林公園

●公園内にある陰陽山は標高233mで山頂からは八満山や筑波山・日光連山が遠望できる。

●散策コース●

駅舎を出たら大子方面に向かい、国道118号線山方トンネル上にある御城展望台を目指す。久慈川や奥久慈の山並みが見渡せる眺望は絶景。ここで地域を俯瞰しておこう。そこから県道29号線を西へ向かうと「パークアルカディア」がある。自然に囲まれたレジャー施設で食事もできる。そこからさらに西に進むと、りんごとぶどうの看板が目印の「山方ふれあい農園」がある。春から秋にかけてブルーベリーやぶどう・りんごが収穫され、直接販売されている。又、11月上旬ごろはりんご(ふじ)の収穫最盛期でもあり、りんご狩りも楽しむこともできる。

甘みの乗ったりんごを満喫したら久慈川へ。国道118号線沿いには名物の舟納豆の店舗がある。舟の形のパッケージが特徴の納豆は、地元産の大豆をはじめ、全国から厳選した最上質の原料を使った逸品で、ぜひお土産にしたい。そこから南へ進むと山方淡水魚館で特別天然記念物・オオサンショウウオをはじめ、さまざまな淡水魚を展示する水族館は入館料も安く、気軽に楽しむことができる。「やまがた宿芋煮会」の会場となる清流公園は、山方淡水魚館の北東側にある。

丸真食品の舟納豆

●お問い合わせ／常陸大宮市山方総合支所経済建設課 ☎0295(57)2121 ●企画・制作／読売茨城広告社 ☎029(244)5555

駅からのふるさと紀行 JR水郡線

山方宿駅

野上原 中舟生

●次回は11月22日 ※イラストはイメージです。
「高浜駅」を掲載予定です。

やまがた宿芋煮会 (11月22日(日)開催)

●会場では芋煮のほかにも地元特産品などが当たる抽選会などの楽しいイベントも人気。

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

ISUZU

茨城いすゞ自動車株式会社

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(代)
http://www.ibaraki-isuzu.co.jp

●木とガラス窓が印象的な独特のデザインで、銀色に輝く姿は、駅の東側を流れる久慈川の鮎をモチーフにしたと言われている。

●公民館と図書館がある構内。

●2面2線の地上駅でホームには大正11年の開業当時から使用されている待合室がある。

南郷街道の宿場町・山方 駅名が往事の姿を現在に伝える

奥久慈への玄関口であり、南郷街道の宿場町として栄えた常陸大宮市山方地区。JR水郡線の「山方宿駅」は、宿場町であった歴史を今に伝える駅名だ。今から二十数年前に改築された駅舎は公民館と図書館が併設されている。

秋の「やまがた」といえば芋煮会。「山方」は、芋煮会の本場である山形県と同じ読み方であることから、毎年11月中旬に「やまがた宿芋煮会」を開催している。会場となるのは山方宿駅から徒歩約5分のところにある清流公園。直径3.5メートルの関東のジャンボ大鍋で、奥久慈シヤモ肉や里芋など、地元産の食材がふんだんに入った約5000食の「芋煮茶屋」や特産品販売コーナーが設けられるなど、例年、楽しさいっぱいのイベントとしてにぎわっている。

18回目を迎えることは11月22日(日)に開催。秋の深まる自然豊かな山方宿で食べる温かい芋煮の味は格別だろう。